

平成22年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成22年7月30日

上場会社名	富士製薬工業株式会社	上場取引所	JQ
コード番号	4554	URL	http://www.fujipharma.jp
代表者	(役職名) 代表取締役社長	(氏名)	今井 博文
問合せ先責任者	(役職名) 取締役管理部マネージャー	(氏名)	上出 豊幸
四半期報告書提出予定日	平成22年8月13日	配当支払開始予定日	—
四半期決算補足説明資料作成の有無	： 無		
四半期決算説明会開催の有無	： 無		

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年9月期第3四半期の業績（平成21年10月1日～平成22年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年9月期第3四半期	14,722	22.0	2,483	60.3	2,491	59.6	1,485	61.2
21年9月期第3四半期	12,071	—	1,548	—	1,561	—	921	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
22年9月期第3四半期	115	46	—	—
21年9月期第3四半期	71	63	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
22年9月期第3四半期	23,365	17,377	17,377	17,377	74.4	1,350	25	
21年9月期	22,862	16,221	16,221	16,221	71.0	1,260	42	

(参考) 自己資本 22年9月期第3四半期 17,377百万円 21年9月期 16,221百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
21年9月期	—	—	11	00	—	—	13	00	24	00
22年9月期	—	—	13	00	—	—	—	—	—	—
22年9月期（予想）	—	—	—	—	—	—	16	00	29	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：有

3. 平成22年9月期の業績予想（平成21年10月1日～平成22年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	19,710	14.6	3,066	24.5	3,078	24.2	1,880	23.2	146	08

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：有

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：無

② ①以外の変更：有

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

22年9月期3Q	12,870,000株	21年9月期	12,870,000株
22年9月期3Q	10株	21年9月期	10株
22年9月期3Q	12,869,990株	21年9月期3Q	12,869,990株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項については、[添付資料] P. 3「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 継続企業の前提に関する注記	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
4. 補足情報	7
(1) 生産、受注及び販売の状況	7

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策の効果や企業の在庫調整の進展、中国をはじめとする新興国の需要回復により緩やかな景気回復となりましたが、ギリシャに端を発する欧州の財政問題から株安や円高が急速に進展し、景気回復の先行きに不透明感が増す状況となっております。

医療用医薬品業界におきましては、2010年4月に診療報酬改定と薬価改定が実施されました。今回の改定では薬価ベースで5.75%の引き下げが行われ、さらに長期収載品の追加引き下げ等が実施されました。一方、後発品使用促進策として調剤薬局における後発品調剤体制加算が同時に実施され、ジェネリック医薬品の使用促進が、より一層進もうとしております。しかし、国内新薬メーカーや海外大手ジェネリックメーカー等によるジェネリック医薬品市場への参入が活発化するなど、企業間競争は益々厳しくなっております。

このような状況のもと、当社は、本年2月に持田製薬株式会社と遺伝子組み換えヒト顆粒球コロニー刺激因子（G-CSF）製剤の共同開発契約を締結し、現在、臨床第Ⅱ/Ⅲ相試験を開始しております。また、本年3月に現在の富山工場の敷地内に来秋の稼働を目指し三極GMPモデルとなる高活性工場の建設を開始しました。

営業面におきましては、重点領域である産婦人科領域において、新薬「ルナベル配合錠」（子宮内膜症に伴う月経困難症治療薬）の販売に注力するとともに、不妊症治療薬等の主力製品のシェア拡大を図り、全国のDPC（入院医療包括評価）対象病院に向けては、新規開拓・取引拡大のための営業活動を積極的に展開して参りました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は14,722百万円（前年同期比22.0%増）となり、営業利益は2,483百万円（同60.3%増）、経常利益は2,491百万円（同59.6%増）、四半期純利益は1,485百万円（同61.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産・負債及び純資産の部)

当第3四半期会計期間末における総資産額は23,365百万円となり、前事業年度末に比べ502百万円増加、純資産は17,377百万円と前事業年度末に比べ1,156百万円増加となり、自己資本比率は74.4%となりました。

資産の部においては、流動資産については、現金及び預金の増加や主に商品及び原材料などの棚卸資産が増加したこと等により630百万円の増加、固定資産については、富山工場で第5製剤棟着工に伴う建設仮勘定の増加があった一方、償却による減少等により128百万円減少しております。

負債の部においては、流動負債については、仕入債務の減少等により672百万円減少しております。固定負債については、退職給付引当金の増加等により18百万円増加しております。

純資産の部においては、利益剰余金について配当金の支払いがあったものの四半期純利益の計上等により1,156百万円増加しております。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は3,123百万円（前事業年度末比455百万円の増加）となりました。

当第3四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

税引前四半期純利益2,454百万円に、減価償却費758百万円、未払費用の増加額285百万円などを加える一方、仕入債務の減少額514百万円、たな卸資産の増加額444百万円、法人税等の支払額1,209百万円などがあったことにより、営業活動で得られた資金は1,404百万円（前年同期比311百万円の増加）となりました。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

定期預金の払戻による収入300百万円があった一方、有形固定資産の取得による支出802百万円があったことなどにより投資活動により使用した資金は616百万円（前年同期は1,044百万円の使用）となりました。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払いにより、財務活動で使用した資金は332百万円（前年同期は268百万円の使用）となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第3四半期累計期間の売上高は、主力の診断用薬を中心に当初計画を若干上回る水準で推移し、引き続き第4四半期会計期間につきましても概ね当初計画通りに推移する予定ですので、当初の予想から売上高610百万円、営業利益341百万円、経常利益338百万円、当期純利益200百万円それぞれ引上げております。

よって、通期の予想といたしましては、売上高19,710百万円、営業利益3,066百万円、経常利益3,078百万円、当期純利益1,880百万円を見込んでおります。

なお、平成21年11月9日の決算短信で発表しました通期の業績予想との差異は以下の通りです。

(通 期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益	
					円	銭
前回発表予想(A)	19,100	2,725	2,740	1,680	130	54
今回修正予想(B)	19,710	3,066	3,078	1,880	146	08
増減額(B-A)	610	341	338	200	—	—
増減率(%)	3.2	12.5	12.3	11.9	—	—
前期実績	17,198	2,462	2,477	1,525	118	57

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. 簡便な会計処理

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定する方法によっております。

②たな卸資産の評価方法

当第3四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ、正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

2. 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(四半期損益計算書)

前第3四半期累計期間において、営業外収益の「その他」に含めて表示しておりました「受取手数料」は、営業外収益の総額の100分の20を超えたため、当第3四半期累計期間より区分掲記することとしました。なお、前第3四半期累計期間の営業外収益の「その他」に含まれる「受取手数料」は102千円であります。

また、前第3四半期累計期間において、営業外収益で表示しておりました「業務受託料」は、当第3四半期累計期間より「その他」に含めて表示しております。なお、当第3四半期累計期間の営業外損益の「その他」に含まれる「業務受託料」は106千円であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,618,452	2,161,361
受取手形及び売掛金	7,575,622	7,528,843
有価証券	504,817	706,832
商品及び製品	1,766,185	1,415,259
仕掛品	764,210	844,773
原材料及び貯蔵品	1,842,796	1,668,493
その他	659,431	775,718
貸倒引当金	△2,272	△2,258
流動資産合計	15,729,243	15,099,024
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,726,231	2,695,263
その他(純額)	2,637,141	2,235,163
有形固定資産合計	5,363,373	4,930,427
無形固定資産		
投資その他の資産	1,157,751	1,323,861
固定資産合計	1,114,820	1,509,656
固定資産合計	7,635,945	7,763,945
資産合計	23,365,188	22,862,969
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,030,390	3,544,880
未払法人税等	361,575	695,739
賞与引当金	550,940	651,870
役員賞与引当金	23,000	14,100
返品調整引当金	11,245	14,374
その他	1,202,611	931,385
流動負債合計	5,179,763	5,852,351
固定負債		
退職給付引当金	542,986	517,749
その他	264,679	271,272
固定負債合計	807,665	789,022
負債合計	5,987,429	6,641,373
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,616,950	1,616,950
資本剰余金	2,841,587	2,841,587
利益剰余金	12,919,745	11,768,381
自己株式	△7	△7
株主資本合計	17,378,275	16,226,911
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△515	△5,315
評価・換算差額等合計	△515	△5,315
純資産合計	17,377,759	16,221,596
負債純資産合計	23,365,188	22,862,969

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)
売上高	12,071,084	14,722,475
売上原価	6,687,730	7,988,848
売上総利益	5,383,354	6,733,627
販売費及び一般管理費	3,834,541	4,250,167
営業利益	1,548,812	2,483,459
営業外収益		
受取利息	3,961	1,964
受取配当金	402	402
受取手数料	—	2,610
業務受託料	4,338	—
その他	6,575	6,669
営業外収益合計	15,277	11,646
営業外費用		
支払利息	469	145
売上割引	1,946	2,762
減価償却費	296	233
その他	370	434
営業外費用合計	3,083	3,576
経常利益	1,561,005	2,491,529
特別利益		
前期損益修正益	14,128	—
共同開発費用分担金	—	40,322
特別利益合計	14,128	40,322
特別損失		
固定資産除却損	1,896	66,040
たな卸資産評価損	54,337	—
投資有価証券評価損	—	11,012
その他	6,606	—
特別損失合計	62,840	77,053
税引前四半期純利益	1,512,293	2,454,798
法人税、住民税及び事業税	520,242	888,535
法人税等調整額	70,166	80,279
法人税等合計	590,408	968,814
四半期純利益	921,885	1,485,983

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成21年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1,512,293	2,454,798
減価償却費	690,483	758,882
退職給付引当金の増減額(△は減少)	43,423	25,237
貸倒引当金の増減額(△は減少)	71	14
賞与引当金の増減額(△は減少)	△190,733	△100,930
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,900	8,900
返品調整引当金の増減額(△は減少)	1,516	△3,129
受取利息及び受取配当金	△4,363	△2,366
固定資産除却損	1,896	66,040
投資有価証券評価損益(△は益)	—	11,012
売上債権の増減額(△は増加)	△239,970	△46,779
たな卸資産の増減額(△は増加)	△577,697	△444,666
前渡金の増減額(△は増加)	△18,052	18,242
未収入金の増減額(△は増加)	82,480	9,757
前払費用の増減額(△は増加)	16,818	△5,457
長期前払費用の増減額(△は増加)	△43,497	92,832
仕入債務の増減額(△は減少)	206,532	△514,489
未払金の増減額(△は減少)	179,430	△2,335
長期未払金の増減額(△は減少)	△1,629	△4,135
未払費用の増減額(△は減少)	165,653	285,851
未払消費税等の増減額(△は減少)	19,235	18,229
その他	△6,727	△11,908
小計	1,835,262	2,613,599
利息及び配当金の受取額	4,384	2,323
利息の支払額	△2,373	△2,731
法人税等の支払額	△739,081	△1,209,008
その他の支出	△6,000	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,092,192	1,404,183
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△100,000	—
定期預金の払戻による収入	—	300,000
有形固定資産の取得による支出	△600,078	△802,630
有形固定資産の除却による支出	—	△21,380
無形固定資産の取得による支出	△343,000	△111,381
差入保証金の回収による収入	—	20,000
その他	△934	△1,284
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,044,013	△616,676
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△268,487	△332,432
財務活動によるキャッシュ・フロー	△268,487	△332,432
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△220,308	455,074
現金及び現金同等物の期首残高	2,981,152	2,668,194
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,760,843	3,123,269

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

	前第3四半期累計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成21年6月30日)		当第3四半期累計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成22年6月30日)		前年同期比 増減率 (%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
診断用薬	5,097,597	43.8	6,731,389	51.1	32.1
ホルモン剤	3,058,415	26.3	3,079,955	23.4	0.7
循環器官用薬	914,518	7.9	757,169	5.8	△17.2
抗生物質及び化学療法剤	622,851	5.3	448,198	3.4	△28.0
泌尿・生殖器官系用薬	246,844	2.1	346,085	2.6	40.2
外用薬	181,273	1.6	197,459	1.5	8.9
その他	1,516,283	13.0	1,603,523	12.2	5.8
合 計	11,637,784	100.0	13,163,781	100.0	13.1

(注) 1. 金額は販売価額で表示しており、消費税等は含まれておりません。

2. 千円未満の端数は切り捨てて表示しております。

3. 第1四半期会計期間から外用薬の一部を商品から製品に変更したため、前第3四半期累計期間を変更後の区分に組み替えております。

②商品仕入実績

	前第3四半期累計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成21年6月30日)		当第3四半期累計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成22年6月30日)		前年同期比 増減率 (%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
体外診断用医薬品	464,172	69.3	636,766	48.6	37.2
ホルモン剤	114,447	17.1	584,335	44.6	410.6
抗生物質及び化学療法剤	2,534	0.4	3,747	0.3	47.8
外用薬	3,140	0.5	—	—	—
その他	85,280	12.7	85,049	6.5	△0.3
合 計	669,576	100.0	1,309,898	100.0	95.6

(注) 1. 金額は仕入価額で表示しており、消費税等は含まれておりません。

2. 千円未満の端数は切り捨てて表示しております。

3. 第1四半期会計期間から外用薬の一部を商品から製品に変更したため、前第3四半期累計期間を変更後の区分に組み替えております。

③受注実績

当社は、見込み生産を行っているため、該当事項はありません。

④販売実績

	前第3四半期累計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成21年6月30日)		当第3四半期累計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成22年6月30日)		前年同期比 増減率 (%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
(製 品)					
診断用薬	4,887,368	40.5	6,389,821	43.4	30.7
ホルモン剤	2,827,546	23.4	3,007,580	20.5	6.4
循環器官用薬	884,314	7.3	885,632	6.0	0.1
抗生物質及び化学療法剤	456,698	3.8	504,354	3.4	10.4
泌尿・生殖器官系用薬	266,538	2.2	283,247	1.9	6.3
外用用薬	205,945	1.7	210,562	1.4	2.2
その他	1,156,735	9.6	1,534,959	10.4	32.7
製品合計	10,685,148	88.5	12,816,158	87.0	19.9
(商 品)					
ホルモン剤	500,431	4.2	923,191	6.3	84.5
体外診断用医薬品	727,033	6.0	839,071	5.7	15.4
抗生物質及び化学療法剤	7,234	0.1	6,053	0.1	△16.3
外用用薬	3,070	0.0	2,843	0.0	△7.4
その他	148,165	1.2	135,156	0.9	△8.8
商品合計	1,385,936	11.5	1,906,317	13.0	37.5
合 計	12,071,084	100.0	14,722,475	100.0	22.0

(注) 1. 金額は販売価額で表示しており、消費税等は含まれておりません。

2. 千円未満の端数は切り捨てて表示しております。

3. 第1四半期会計期間から外用用薬の一部を商品から製品に変更したため、前第3四半期累計期間を変更後の区分に組み替えております。